

3年ぶりのリアル
開催！

2022年9月17日（土）～9月19日（月・祝）
六本木の街を舞台にしたアートの饗宴『六本木アートナイト2022』

「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！」

メインプログラム・アーティストに日本を代表する現代アーティスト村上隆を迎え、
Mr.、タカノ綾、MADSAKI、大谷工作室ら、気鋭のアーティスト達による
「ドラえもん」が六本木の街に、アートの魔法をかける！

「六本木アートナイト」は、六本木の街を舞台に繰り広げられるアートの饗宴。美術館をはじめとする文化施設、大型複合施設、商店街が集積する六本木の街全域にわたり、インスタレーション作品、音楽やパフォーマンス、トークなどの多様なコンテンツを展開、社会に於けるアートの更なる可能性を発信しています。2009年より継続的に開催し、都市型アートフェスティバルとして定着してまいりました。

新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う影響を鑑み、リアルでの開催を見送ってまいりましたが、この度、2022年9月17日（土）～9月19日（月・祝）に「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！」をテーマに開催することが決定いたしました。メインプログラム・アーティストには、世界を舞台に活躍し日本を代表する現代アーティスト村上隆を迎え、さらに村上がキュレーションしたアーティスト12組もメインプログラムに参加します。

今回村上がメインプログラムに選んだモチーフは「ドラえもん」。

村上曰く「20世紀、日本が生んだ最大のポップアイコン」である「ドラえもん」を生み出したアーティスト藤子・F・不二雄と、アーティスト村上隆のコラボレーションとして、近年数々の作品を生み出してきました。六本木アートナイトでは、過去最大級のバルーン作品を制作予定です。また、今回の六本木アートナイトで村上は、アーティストとしてだけでなく、プロデューサーとして、自身がキュレーションしたアーティスト、Mr.（ミスター）やタカノ綾、MADSAKI（マサキ）、村田森、READYMADE（レディメイド）などを手掛ける細川雄太らとともに、「ドラえもん」をモチーフにした新作に挑んでいます。それぞれの作品は、六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館等に展示され、六本木の街に出現する多彩なドラえもんのバルーン作品が醸し出す非日常な空気感、まさにマジカルな世界になるでしょう。

期待されていた作品たちが、ようやくお披露目となります！

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、「密」を避けるために従来のオールナイトでの開催はいたしません。開催日程も3日間に拡大し、一部先行展示を行うなど、観客集中の緩和と鑑賞機会の分散に努めて開催いたします。



メインプログラム・アーティストは世界を舞台に活躍し、
日本を代表する現代アーティストである村上隆。
期待されていた作品が、ようやくお披露目！

村上が選んだモチーフは「ドラえもん」。

村上曰く「20世紀、日本が生んだ最大のポップアイコン」である「ドラえもん」を生み出したアーティスト藤子・F・不二雄と、アーティスト村上隆のコラボレーションとして、近年数々の作品を生み出してきました。六本木アートナイトでは、過去最大級のバルーン作品を制作予定です。

また、今回の六本木アートナイトでは、自身がキュレーションしたアーティストも同様に「ドラえもん」に挑み新作を制作します。

六本木アートナイト2022 テーマ：

マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！

六本木に、世界中からさまざまなアートが集まります。

スペシャルな「ドラえもん」を使った現代美術作品、街中に点在するインスタレーション作品、映像やパフォーマンスに加えて、デジタルで楽しめるアートナイト・デジタル（RAN TV）でも多くの映像作品、トーク・プログラムなどを発信します。

アートの魔法がかけられたこの街は、不思議が溢れるマジカルな世界に変わります。アートの不思議を探る冒険に出れば、驚きと感動を与えてくれる発見があるでしょう。

「ドラえもん」と一緒に、マジカル大冒険をお楽しみください。

©2022 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro



Photo by RK (IG:@rkrkrk)
©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

六本木アートナイトは、都合3回、スケジュールを変えました。コロナ禍が発生した直後と、東京都への緊急事態宣言発令による2回。今回は4回目の正直となる訳ですけれども、いよいよ、2年半の時を経て、私、村上隆によるキュレーションで『ドラえもん』と、13名のアーティスト達とのコラボレーションをしたバルーンの展示が行われます。

コロナ禍は、在宅で行き場のないモヤモヤを抱えた人々を大量に生み出し、全世界的に、ゲームやネットへの依存を助長させました。その流れで、日本のコンテンツ、特に漫画やアニメに触れる機会が格段に増え、理解も深まったと思います。

中でも『ドラえもん』は、日本とアジアにおいて、とても重要なコンテンツです。主人公がイケてなくて、モジモジしていて、それを助ける耳の無いネコ型ロボットがいて、しかし、そのモジモジ君の問題が解決されることはない。けれども、取り敢えず、笑って生きていこう...。そういつ、この作品の持つ、ある意味“ドリームズカムトゥルー”と真逆の人生哲学が、いま、アジアの人々の心により強く沁み込んでいるのではないかと。言うなれば、『ドラえもん』はアメリカのミッキーマウスのような、アジアのアイコン的なキャラクターです。ゆえに、僕も日本の象徴として、これまでもコラボレーションさせて頂いてきましたが、今回は、13名のアーティストに声を掛けて、『ドラえもん』と日本人アーティストのコラボレーションを、さらに展開してみました。

ARでの体験も、できたら何箇所か用意したいなあ、と考えていたりします。とにかく、是非とも、楽しんでください。

村上 隆

六本木アートナイト2022 村上隆メインプログラム

過去最大級の村上隆によるバルーン作品が六本木ヒルズアリーナと東京ミッドタウンに展示されます。

- 展示期間：9月17日（土）～9月19日（月・祝）
- 展示場所：六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン

<六本木ヒルズアリーナ展示予定作品>



<東京ミッドタウン展示予定作品>



村上隆がキュレーションしたアーティスト12組による「ドラえもん」が大集合！

「六本木アートナイト2022」で村上は、アーティストとしてだけでなく、プロデューサーとして自身がキュレーションしたアーティスト達と「ドラえもん」に挑み新作を制作します。それらの作品は六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館、ラピロス六本木の4か所に展示予定です。今を生きるアーティストが、伝説のアイコンとどのようにコラボレーションするのか、期待が高まります。

- 展示期間：9月17日（土）～9月19日（月・祝）
- 展示場所：六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館、ラピロス六本木

<展示予定作品>

Mr. (ミスター)



Photo by Claire Dorn
©Mr./Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.
©Fujiko-Pro.



タカノ綾



Photo by Claire Dorn
©Aya Takano/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



MADSAKI (マサキ)



Photo by RK
(IG: @rkrkrk)
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©Fujiko-Pro.



TENGAone (テンガワン)



Photo by RK
(IG: @rkrkrk)
©TENGAone/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



くらやみ



Photo by IKKI OGATA
©Emi Kuraya/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



ob (オビ)



Photo by Hiroki Tadano
©ob/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



大谷工作室



Photo by Claire Dorn
©Otani Workshop
/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



青島千穂



Photo by Kentaro Matsumoto
©Chiho Aoshima/
Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



<展示予定作品>

Kasing Lung



©Kasing Lung. All rights reserved. ©Fujiko-Pro.



T9G (タクジ) & ナカザワショーコ



©T9G ©Shoko Nakazawa ©Fujiko-Pro.



村田森



Photo by Fusako Murata
©Shin Murata/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro.



細川雄太



©Yuta Hosokawa
©Fujiko-Pro.



六本木アートナイト2022 メインビジュアル



今回のメインビジュアルは、メインプログラムを担当するアーティスト村上隆のオリジナルビジュアルをベースに制作されました。村上が今回のモチーフに選んだ「ドラえもん」の周りに、村上の代表的なモチーフであるフラワーが配られています。ビジュアルに使用されているフラワーは今回のメインプログラムにも参加するアーティストMADSAKI (マサキ) とのコラボレーションによるものです。ビジュアルの制作は日本を代表するデザイン・スタジオであるグルーヴィジョンズが担当しました。

©2022 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

<< プロフィール >>

村上 隆 | Murakami Takashi, 1962年、東京生まれ。

日本の伝統絵画と現代美術の源流をアニメ・マンガの視覚論を通して再構想する「スーパーフラット」論を提唱。Miss Ko²とDOB君など、おたく文化を反映したキャラクターを多く生み出し、キッチュ性の高い彫刻作品と西洋の透視図を対極とする超二次元的な絵画を発表している。

村上のサブカルチャーを基盤とする文化論は、高級／低俗のヒエラルキーを解体するだけでなく、戦後日本人の心理を批評的に描き出し、グローバル化が進むアート・シーンに日本固有の言説を確立した。また、ルイ・ヴィトンや、カニエウエスト、ドレイクらとのコラボレーションや、ストリートファッションと現代陶芸に着目した活動を通して、現代美術の垣根を超えた観客層を世界中で獲得し続けている。

自身が企画した「スーパーフラット三部作」の最終章「リトルボーイ」展（ニューヨーク、2005年）は、全米批評家連盟によるベストキュレーション賞に輝く。初の回顧展『©MURAKAMI』（2007-2009年）はロサンゼルス現代美術館を含む欧米4都市を巡回。ヴェルサイユ宮殿（2010年）、アルリワク展示場（ドーハ、2012年）、森美術館（2015年） ガラージ現代美術館（モスクワ、2017年）、大館（香港、2019年）など、世界中で個展を開催している。

近年はNFTに参入し、「Murakami.Flowers」や、RTFKTとのコラボレーション作品「CLONE X」を発表。The Webby Awardsでは特別功労賞を受賞した。先ごろ、デジタルと現実の2つの世界をテーマにした展覧会「An Arrow through History」をNYのガゴシアンギャラリーで開催した。

「六本木アートナイト」は新型コロナウイルス蔓延を受けて2020年5月の開催が中止となり、その後も延期を繰り返して参りました。この度、2022年9月17日（土）から19日（月・祝）の3日間に、「六本木アートナイト2022」として改めて開催できることを心から嬉しく思います。オールナイトとまでは行きませんが、朝から夜まで、六本木の街なかでアート、映像、パフォーマンスをお楽しみいただけます。

テーマは「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！」。もともと2020年に計画していたコンセプトですが、パンデミックや戦争など地球規模の困難が広がった今日、アートの持つマジカルな力と想像力によって、別世界を旅する体験はますます求められているといえるでしょう。

「六本木アートナイト2022」のメインプログラムは、待ちに待った村上隆の「ドラえもん」モチーフのバルーン作品と、村上さんキュレーションによる12組のアーティストの「ドラえもん」です。「ドラえもん」の四次元ポケットから次々に出てくるひみつ道具は、好きなところに行ける「どこでもドア」や好きな時代に行ける「タイムマシン」など、長いこと子供の心を踊らせてきましたが、空間や時間を自在に超えられる道具は、時代や年齢に限らず誰もが夢を見ることが出来るもの。アーティストとコラボレーションした「ドラえもん」はどのようなマジカルな世界へ私たちを誘ってくれるのでしょうか。

メインプログラムに加え、「六本木アートナイト2022」にはコンセプトチュアル・アートのレジェンド、ローレンス・ウィナーや90年代以降の国際芸術祭等で広く知られるキムスージャやマイケル・リンも参加。カラフルでカワイイ作品が特徴の増田セバスチャンは六本木交差点周辺を変身させます。その他、六本木ヒルズ、国立新美術館、東京ミッドタウンから芋洗い坂周辺の空きビル空間まで、今年も多数のアーティストによるアート作品やパフォーマンスがみなさまをマジカルな体験へお迎えします。どうぞご期待下さい。



撮影：伊藤彰紀

六本木アートナイト実行委員長
片岡 真実（森美術館 館長）

六本木アートナイト 2022 開催概要

■ 正式名称：六本木アートナイト2022

■ 六本木アートナイト開催趣旨：

「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、アートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。

※2011年は東日本大震災、2020年・2021年はコロナ禍により中止

■ 開催期間：2022（令和4）年9月17日（土）～9月19日（月・祝）

※9月3日（土）～一部作品は先行展示

■ 開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

デジタル> YouTube チャンネル『RAN TV』 https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight

■ 入場料／視聴料：無料（但し、一部のプログラム及び美術館企画展は有料）

■ 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】

■ 助成：令和4年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

■ 特別協力：藤子プロ

ウェブサイト：<https://www.roppongiartnight.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>

Twitter：https://twitter.com/r_artnight

Instagram：https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/

※実施内容等につきましては、新型コロナウイルスの感染状況や諸般の事情により、予告なく変更または中止する場合がございます。

変更が生じる場合は、公式ウェブサイトや公式SNS等で改めてお知らせいたします。

開催についての詳細や、参加アーティスト情報などについては、今後随時発表予定です。
最新情報は順次、公式ウェブサイトや公式SNSにて発表してまいりますので、是非ご注目ください。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内)

担当：小谷 / Email：RAN@one-o.com